

2019年度 事業報告書

2019年 1月 1日から 2019年 12月 31日まで

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

1. 事業の成果

1. 新たな組織や個人との連携強化と子どもや若者の社会貢献活動の更なる促進に向けたイベントの開催に向けた活動の実施
2. 学校などで子どもが社会問題を知り、それに対してアクションを起こしていくことを進める教育プログラム“WE Schools”の開発、高校と連携し授業モデルを実践
3. フィリピンから視覚障害者の高校生5人を招聘し、活動家として育成する取り組みを実施
4. チャリティーイベント「東京グレートサンタラン」で特別協力団体として参加、イベントを通じて子ども・ユースの活動機会の創出やケニアの医療事業に向けた資金調達の実施

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
子ども主体事業	FTCJアンバサダーによる企画運営事業(企画・チョコプロ、メンバーサポート)	2019年1月～ 2019年12月	東京事務所、世田谷区、全国	2人	114	757
子ども活動応援事業	育成事業、メンバーサポートなど	2019年1月～ 2019年12月	東京事務所、カナダ、全国	4人	3123人	11,244
外部ネットワーク事業	他組織と連携して政策提言活動や、世論喚起活動	2019年1月～ 2019年12月	東京事務所、議員会館、都内、全国	3人	783,794人	1615
アドボカシー事業	社会問題、国際問題を伝える活動(ウェブ、スピーチ、機関誌発行など)	2019年1月～ 2019年12月	東京事務所、全国	3人	20,229人	7063
アドボカシーWEDay事業	子ども達のアクションを広め、社会貢献活動を	2019年1月～ 2019年12月	東京事務所、全国	4人	2000人	16524
自立支援事業	インド、フィリピン、ケニア、緊急支援	2019年1月～ 2019年12月	インド・フィリピン・ケニア・千葉県	3人	支援地域に住む家族、子ども3,522人	6224

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)



2020年度第16期 事業報告書
2020年3月10日作成

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5 安藤ビル3F

TEL : 03-6321-8948

URL : <http://www.ftcj.com>

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
2019年度事業報告
2019年1月1日～2019年12月31日まで

1. 2019年度 事業を実施して

2019年は、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンが設立20年目を迎えた節目の年でした。また、子どもの権利条約が国連で採択されて（作られて）ちょうど30年、日本政府が批准して（同意して）25年の年でもありました。世界では2000年以降、南アジアをはじめとして多くの地域では教育環境が改善し、小学校に通えない子どもの数は5900万人に減少し、20年前は2億4600万人と言われていた世界の児童労働者数も、現在は1億5200万人と大きく減少しました。20年間の活動を通じて実感していることは、多様な価値観に触れたり、より良い世界に向けて考え行動したりする日本の子どもや若者が増えたということです。

他方、気候変動や経済格差が地球規模で深刻さを増し、戦争や迫害などから逃れた難民・避難民は世界中で7000万人を超え、国連が統計を取り始めてから最多となりました。日本青少年研究所による調査では、68.3%の日本の高校生が「自分が参加しても社会は変わらない」と考えており、近年10代以下の日本の子どもの自殺率は各年代の中で唯一増加傾向にあり、国内外の子どもを巡る状況は、依然として厳しいと言わざるを得ません。

改善がみられる社会課題はあるものの未だに世界の厳しい状況を考えると、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンとしては、子ども自身が持続可能な社会の担い手となるよう20年の歩みで培った経験や知識を活かしてより多くの子どもをエンパワーし、子どもが声をあげられる社会づくりにより一層注力することが使命であると確認し、2020年3月20日に、日本初のWE Dayを東京で開催することを掲げて具体的な準備を行ったことが2019年度の大きな取り組みとなりました。その他の今年度のハイライトとしては、国連子どもの権利条約30年を機に、子どもの尊厳や権利が守られているとは言い難い現状に取り組むために、「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」を実行委員として複数のNGOとともに展開し、子どもの権利条約の土台となっている「すべての子どもは生まれたときから1人の人間として尊重されるべき尊い存在である」という理念を伝える取り組みを様々に行いました。

国際協力事業としては、フィリピンのミンダナオ島の先住民族の村の学校修繕事業のためにクラウドファンディングをユースチームが中心となって行い、目標金額を達成できたことで2020年から建設工事に着手します。また、インドのラジャスタン州の少数民族の村での小学校建設が完成したために、寄付者の桃山学院高校の先生方と共に現地訪問をしたり、2000年から支援を行っている西ベンガル州の支援事業地域を訪問したりできました。その他、ウェブサイトのデザインを一新し、11月にオープンし、国内のキャンプや継続的な寄付者（サポーター）を獲得するための動画をクリエイターの[]さんに制作ご協力頂きネットやSNSを通じてアピールしました。

改めて、活動にご協力くださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。特に、新事業WE Dayの開催に向けて多くの方々から様々なご協力をいただき、本当に嬉しく励まされました。小さな団体で大きな試みのWE Dayを開催することはかなり難しいと考えていましたが、たくさんの方々からご支援やご協力を頂き感謝の言葉しかありません。「子どもには世界を変えられる」というモットーを伝え、社会貢献のうねりをつくるために、今後も引き続きどうぞ宜しくお願い致します。

代表理事 中島早苗

2. 2019年度 事業活動報告

1) 子ども主体事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

子ども達が自ら世界の子ども権利を守るため、主体的に活動する機会提供

【活動ご協力のご紹介】

◆活動協力：株式会社 千鳥屋(チョコレートプロジェクト)

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
FTCJアンバサダー (旧子ども代表委員)	夏のキャンプ参加者から立候補を募り、他の参加者から承認を得て就任。子どもメンバーの代表として各地での活動に積極的に参加。 2018/9-2019/10 9人(うち4人は高3の、ため2019/03まで) 2019/9 8人	通年	全国	17人	157
チーム活動	メンバーによって構成されている活動チームへのサポートの実施。活動チームに所属する子どもメンバーに、グループの運営・企画サポートを実施。 【活動チーム】 フィリピンandチョコプロチーム 19人 商品開発チーム 30人 WE Day ユースアンバサダー 32人 クラウドファンディングチーム 16人	通年	主に事務所	チーム所属 97人	600

2) 子ども活動応援事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

1. 国内の子どもが、世界の開発途上国でみられる児童労働など苛酷な状況に置かれている子どもの現状を学び、問題を解決するための支援活動の企画・実行を主体的に行えるように育成する。

2. 国内外の子どもの権利の擁護を求め、子ども参画を果たすための子どもによる活動のサポートを行う。

【活動ご協力のご紹介】

◆助成協力：子どもゆめ基金、三菱UFJ国際財団、日本労働組合総連合会 愛のかんば

(テイク・アクション・キャンプ・ジャパン)

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
子ども活動家育成	FTCカナダが行うTake Action Camp (夏にトロントで実施されている子ども・若者向け1週間のリーダーシップトレーニング・プログラム)に日本の子ども若者が参加できるよう企画運営。 今年度から、語学教育機関のEFと共同プログラムを実施し、前半1週間はトロント市内の語学学校に通学し英語学習、後半1週間をキャンプに参加する2週間プログラムの実施を開始した。	7/28 ~8/1 2	EF Toronto /校外 Me to We Leadership Centre	10人	2165
	Take Action Camp Japanの企画実施。日本にいる子ども若者が社会問題を知り、その解決に向けて自らがアクションを起こし、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ合宿型ワークショップ。 春は水郷小見川少年自然の家にて初開催し、夏はゲストスピーカーとして元子ども兵士の[]を招致。 春は2泊3日、夏は4泊5日で実施。	5/3 ~5 8/21 ~25	千葉県水郷 小見川少年 自然の家/ 国立中央青 少年交流の 家	52人 (+大学生2 3人)	2834
メンバー活動サポート	メンバー登録をした子ども達へイベントや活動の情報を定期的に流したり、電話やメール、オフィスでの対応を通じて子どもメンバーが主体的に活動できるようサポートを実施。ウェルカムデーを毎月2回開催。1月には同窓会イベントWeunionDay2019を実施。	通年	主に事務所	全国のメンバー 1,500人	286
	学校や地域のグループ活動のサポートの実施。	通年	主に事務所	全国のメンバー 1,500人	256
フィリピン・スタディツアー	日本の子どもや若者などが、FTCJが支援するフィリピンの事業地や歴史的な地域を訪問し、行政や民間の働きを見学したり、子どもや地域の人々との交流やボランティアを通じて、現地の状況を多角的に学び、国際協力として自身には何ができるかを考える機会を提供。 ノートルダム女学院高校フィリピン研修(2月12人)、鳥取城北高校(3月中旬~16人) FTCJスタディツアー(3月下旬~15人)	2月~4 月	フィリピン ルソン島サ ンパレス州 オロンガポ 周辺及びマ ニラ首都圏	43人	3,667
ケニア・スタディツアー	ケニアの支援先のナロク群のコミュニティを訪問し、農村自立支援の様子を学び、村の人々が行っている水運びの体験やビーズアクセサリーづくりなどの文化体験、小学校の教員寮の建設ボランティア等を行った。また、サファリツアーやグレートリフトバレーなどの観光、ナイロビで活動する日本人をゲストスピーカーに迎え話を聞くなど、多角的にケニアを知り・体感し・考えるツアー	8月7日 ~16日	ケニア ケニアナロ ク群、(ナ イロビ)	11人	2,036

3) 外部ネットワーク

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

様々なセクター、組織とつながってネットワークを構築、協働しFTCJのビジョン、ゴールを実現することを目指す。

<2019年度参加・構築したネットワーク>

・ JNNE（教育協力NGOネットワーク）：開発途上国の子どもへの教育支援を行っているNGOによるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施、外務省との意見交換や政策提言などを行います。ネットワークで行うキャンペーン「世界中の子どもに教育を」キャンペーンにも2019年度は事務局を務めました。世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し世界のEFA（万人のための教育）運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動をしています。

・ 児童労働ネットワーク（CLネット）：児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを行っています。児童労働問題に取り組むNGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されており、FTCJは運営委員団体として参加。

・ 広げよう！子どもの権利条約キャンペーン：2019年4月から3年間の期間予定で始まった子どもの権利条約を伝え広めるためのネットワーク・キャンペーン。FTCJは実行委員として参加している。

・ フェアトレードタウン世田谷推進委員会：世田谷をフェアトレードタウン認定するために設置されたネットワーク。

・ その他非営利組織への会員登録や他団体との協力

より良い事業運営のためJANIC（国際協力NGOセンター）、DEAR（開発教育協会）などのネットワークに参加しました。

助成協力：リコー社会貢献クラブ（JNNE）、公文財団（JNNE）

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
JNNE/ 世界一大きな授業 2019	4月13日～6月30日にかけて、途上国の教育の現状や教育援助の不足について学ぶ授業が国内外で実施され、11か国、（鳥取を除く）46都道府県・の622校・グループ、49,294人が参加した。	4月～7月	全世界	49,294人	650
	5月15日、衆議院第二議員会館で、10回目となる「中高生による国会議員のための「世界一大きな授業」」を開催した。当団体メンバーを含む中高生8名が「先生」、国会議員20名が「生徒」となり、途上国の子どもの教育をテーマに授業を行った。JNNEからはNGOの提言などを伝えた。	5月15日	東京	高校生8名、 国会議員20名	540
	8月6日、JNNEのメンバーと上記の中高生が外務省を訪問、 XXXXXXXXXX ・NGO大使と面会し、全国の「世界一大きな授業2019」参加者から寄せられた「首相・外務大臣への手紙」約4,000通を手渡し、「途上国の子どもたちへの教育援助額を更に増額してください」と申し入れた。	8月6日	東京	国会議員18名	150

	4月27日～6月16日にかけて「ストップ！児童労働キャンペーン2019」を開催。情報発信はFacebookやTwitter等のSNSを中心に行った。また、レッドカードを掲げて写真を撮影し、同時にアクションを表明する「レッドカード+！アクション」と名称を変え参加を呼びかけ、1540枚の写真がTwitter、Facebook、Instagram等のSNSを通して日本全国から投稿があった。	5月-7月	全国	1540枚	35
CLネット	2018年2月から2019年6月まで日本政府へ児童労働問題に対する取り組み強化を要請するため、ストップ！児童労働50万人署名～児童労働のない、2020東京オリンピック・パラリンピックに～を実施。72万2,114筆が集まった。	1月-6月	東京	72万 2114人	30
	児童労働問題解決に向け、政府・企業・市民社会がどのように取り組むべきか検討するため研究会を実施。2019年は、ビジネスと人権指導原則の国別行動計画（NAP）策定と、TICAD7（第7回アフリカ開発会議）、SDGsハイレベル政治フォーラムへの参加	通年	全国	-	30
CRCネット（広げよう！子どもの権利条約キャンペーン）	国連子どもの権利条約制定30年の節目の年として、あらゆる暴力から子どもを守り、子どもが声をあげられる社会の実現に向け、複数のNGOでネットワークを設立。FTCJは実行委員として関与している。賛同団体は全国に100団体以上ある。子どもの権利に関する政策提言活動や、権利を学び活かすためのフォーラムの開催などに取り組んだ。FTCJ子どもメンバーが参加しリレートークを行うなどした。	4月～ 12月	全国	800人	130
フェアトレードタウン世田谷推進委員会	世田谷をフェアトレードタウンとして認定されるよう世田谷区民及び世田谷区にある団体など組織で構成しネットワークを構築。セミナーや勉強会、啓発活動、世田谷区のイベントへの出展などに取り組んだ。	通年	世田谷区	10000人	50

4) アドボカシー事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

目的：国際問題や権利を奪われた子どもの現状を様々な方法で伝え多くの人に知ってもらい問題解決につなげる。
主に関東と関西で事業を展開。

内容：スピーカー派遣・ワークショップ及びイベント実施活動

92回実施、75か所訪問 参加・対象人数：12,249人

教材開発 WE教育プログラム・キャンペーンキットの開発として、草稿が完成

物販（フェアトレードチーム）

事務所訪問対応、ニュースレター発行、ホームページ構築・更新、出版

出前授業・講演会・ワークショップ及びイベント実施活動

日時	講演先（学校・企業・団体名）	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容
2019/1/18	立川市立上砂川小学校	東京都	110	世界の貧困問題
2019/1/25	神奈川県立藤沢総合高等学校	神奈川県	14	世界の格差問題
2019/1/28	栃木県立益子芳星高等学校	栃木県	160	世界の貧困・児童労働
2019/1/31	神奈川県立有馬高等学校	神奈川県	320	世界の貧困・児童労働
2019/2/2-3	ワンワールドフェスタ	大阪府	200	団体説明
2019/2/16	小金井市立小金井第三小学校	東京都	120	世界の格差問題
2019/2/22	羽村市立武蔵野小学校	東京都	101	世界の格差・児童労働
2019/3/5	お茶の水女子大学附属中学校	東京都	120	世界の貧困・児童労働
2019/3/8	関東学院六浦中学校	神奈川県	137	世界の貧困・児童労働
2019/3/15	横浜マイエンスロンティ高等学校	神奈川県	15	世界の格差・児童労働
2019/4/27	大阪YMCA国際専門学校	大阪府	25	世界の状況 ・アクションを考える
2019/4/27	EFグローバルセミナー	神奈川県	25	世界の格差問題
2019/4/28	大泉桜高等学校	東京都	120	世界の貧困・児童労働
2019/5/6	EFグローバルセミナー	東京都	18	世界の格差問題
2019/5/8	桜丘高等学校	東京都	40	キャリア・業務紹介
2019/5/9	仙台市立上杉山中学校	宮城県	40	世界の貧困・児童労働
2019/5/11	平楽中学校	神奈川県	35	世界の貧困・児童労働
2019/5/13	板橋区立大谷口小学校	東京都	60	世界の格差・児童労働
2019/5/16	小金井第三小学校	東京都	160	世界の格差・SDGs
2019/5/23	世田谷区立PTA連合会	東京都	250	子どもの権利条約
2019/6/5	和歌山県立星林高等学校	和歌山県	360	国際理解・児童労働
2019/6/5	ぐんま国際アカデミー	群馬県	25	団体紹介
2019/6/6	横浜市立大綱中学校	神奈川県	846	世界の格差・児童労働
2019/6/6	神奈川県立有馬高等学校	神奈川県	318	世界の貧困・児童労働
2019/6/15	聖学院中学校	東京都	90	世界の格差・児童労働
2019/6/16	世田谷区フィンランド派遣説明会	東京都	12	コミュニケーションスキル
2019/6/18	桐蔭横浜大学	神奈川県	240	ファシリテーションスキル
2019/6/22	立命館守山高校	滋賀県	92	世界の貧困・児童労働
2019/6/22	聖学院中学校	東京都	90	チェンジメイキングスキル
2019/7/2	小金井第三小学校	東京都	160	チェンジメイキングスキル
2019/7/3	神戸女学院大学	兵庫県	80	NPO業界説明・団体紹介

日時	講演先(学校・企業・団体名)	実施場所	受益対象者の 範囲及び人数	講演テーマ内容
2019/7/4	名古屋市立北高等学校	愛知県	44	世界の貧困・児童労働
2019/7/6	町田市立真光寺中学校	東京都	30	世界の格差問題
2019/7/6	聖学院中学校	東京都	90	チェンジメイキングスキル
2019/7/8	鳥取城北高等学校	鳥取県	142	チームビルディング
2019/7/8	鳥取まちなか教育会	鳥取県	20	世界の貧困・団体紹介
2019/7/13	世界食料デー月間イベント	神奈川県	30	フードロス
2019/8/17	東京都人権センター主催WS	東京都	40	子どもの権利条約
2019/8/20	DayBreak	茨城県	200	団体紹介
2019/8/21	三菱鉱石輸送(株)	東京都	30	団体紹介
2019/8/23	郁文館高校	東京都	12	紛争下の子ども・ ソーシャルアクション
2019/8/23	ソーシャルスタンド #76 (ミシェル来日講演)	東京都	10	紛争下の子ども・ ソーシャルアクション
2019/8/24	ロータリーイベント	神奈川県	10	紛争下の子ども・ ソーシャルアクション
2019/8/24	Wake Up Japanイベント	神奈川県	12	紛争下の子ども・ ソーシャルアクション
2019/8/25	アムネスティ鎌倉イベント	神奈川県	10	紛争下の子ども・ ソーシャルアクション
2019/8/25	アムネスティ神奈川イベント	神奈川県	30	紛争下の子ども・ ソーシャルアクション
2019/8/25	キャンプ保護者説明会	静岡県	30	子どものエンパワーメント
2019/8/26	ミシェル来日講演	東京都	60	紛争下の子ども・ ソーシャルアクション
2019/9/5	西宮市立西宮高校	兵庫県	350	女性の権利と子ども参画
2019/9/14	小金井市立小金井第二中学校	東京都	50	世界の貧困・NGOのキャリア
2019/9/24	東京大学付属高校	東京都	14	世界の格差・児童労働
2019/10/2	アレセア湘南高校	神奈川県	268	世界の貧困問題
2019/10/3	田島中学校	埼玉県	274	世界の格差・児童労働
2019/10/7	小平第九小学校	東京都	167	世界の格差問題
2019/10/7	工学院高校	東京都	30	世界の格差・児童労働
2019/10/10	小金井第三小学校	東京都	160	チームビルディングスキル
2019/10/10	工学院高校	東京都	120	世界の格差・児童労働
2019/10/11	上智大学	東京都	150	子どもの権利条約
2019/10/16	ジュネスジャパン サファイアミーティング	東京都	9	団体紹介・子どもの貧困
2019/10/20	EFグローバルセミナー	東京都	30	世界の格差問題
2019/10/21	工学院高校	東京都	120	団体紹介・子どもの活動
2019/10/24	工学院高校	東京都	100	団体紹介・子どもの活動
2019/10/24	滋賀県立草津東高等学校	滋賀県	360	世界の貧困・アクション
2019/10/24	世田谷区シンポジウム	東京都	60	団体紹介・子どもの権利
2019/10/27	EFグローバルセミナー	東京都	8	世界の格差問題

日時	講演先(学校・企業・団体名)	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容	
2019/10/31	大泉桜高校	東京都	60	世界の貧困・児童労働	
2019/11/6	神奈川県立城山高校	神奈川県	40	世界の貧困・児童労働	
2019/11/11	鳥取城北高校	鳥取県	142	チェンジメイキングスキル	
2019/11/11	工学院高校	東京都	40	団体紹介・子どもの活動	
2019/11/14	工学院高校	東京都	120	団体紹介・子どもの活動	
2019/11/16	世田谷メッセ	東京都	10	世界の格差問題	
2019/11/16	子どもの権利条約フォーラム	東京都	300	子どもの権利条約	
2019/11/18	神奈川大学	神奈川県	180	NPO業界解説・世界の格差	
2019/11/21	大河原中学校	宮城県	580	世界の格差・児童労働	
2019/11/24	TEDX TOKYO	東京都	14	団体紹介	
2019/11/26	桐蔭横浜大学	神奈川県	260	団体紹介	
2019/11/30	シーライツイベント	東京都	80	子どもの権利条約	
2019/12/4	白百合大学	東京都	160	団体紹介・NPO業界説明・世界の格差	
2019/12/5	東村山公民館	東京都	20	世界の貧困・児童労働	
2019/12/6	Jeunesse gala event	千葉県	1000	団体紹介・子どもの貧困	
2019/12/7	Jeunesse gala event	千葉県	1000	団体紹介・子どもの貧困	
2019/12/10	NPO・NGO草莽の集い	東京都	20	子どもの活動	
2019/12/12	横浜高等学校	神奈川県	90	世界の格差・児童労働	
2019/12/12	明治学院大学	東京都	170	世界の貧困・児童労働	
2019/12/15	ワンフェスforYouthワークショップ	大阪府	30	世界の貧困・児童労働	
2019/12/16	Yokohama Student Forum	神奈川県	100	団体紹介・子どもの貧困	
2019/12/17	兵庫県立武庫荘総合高等学校	兵庫県	20	児童労働理解	
2019/12/17	大東文化大学	東京都	40	世界の格差・児童労働	
2019/12/17	カリタス高等学校	神奈川県	110	障害者の格差問題・国際比較	
2019/12/17	板橋区立赤塚第一中学校	東京都	120	世界の格差・児童労働	
2019/12/17	兵庫県立武庫荘総合高等学校	兵庫県	20	児童労働理解	
2019/12/18	カリタス高等学校	神奈川県	70	障害者の格差問題・国際比較	事業費 (千円) 3660

WE Schools ニュースレター・メルマガ発行、団体ホームページ更新作成、資料教材開発・出版、物販活動

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
教材開発 WE教育プログラム	アクションの輪を広げるための教職員向けの教材作成。 4つのステップで学び、アクションを考え起こし、振り返る構成になっています。草案が2019年に完成。	通年	東京事務所	教職員・団体の責任者など 100人	1003
イベント	グローバルフェスタ、メーデー中央大会、ワン・ワールド・フェスティバル等。また、WE Dayの開催を視野に入れ実施のための特別チームを設置し、プレイベント実施	通年	全国	国内外の人々 約3,000人	500
ニュースレター・ アンニュアルレポート発行	2018年度アンニュアルレポート NL47号特集：東京グレートサンタランレポート NL48号特集：WEDayJapan開催決定！ NL49号特集：WEプログラムレポート	4月 4月 8月 12月	東京事務所	各号700部 印刷	400
メルマガ発行	月に2回発行	通年	東京事務所	国内外の人々 約5,000人	300
ホームページ更新・作成	webサイト随時更新：1日平均658人程度アクセスあり。WEBサイトリニューアルに向けたページ作成等 ニュース・レポート：1日平均263人程度アクセスあり	通年	東京事務所	国内外の人々	540
資料改定・出版	学校・教員向け冊子の改定、ワークショップ教材の改訂。	通年	東京事務所	子ども、学校、一般	100
物販	フェアトレード商品や出版物の紹介、それに関する資料作成と仕入れ、販売など。	通年	東京事務所	子ども、一般	440

【活動ご協力のご紹介】

◆助成協力：日本郵便株式会社 年賀寄付分配事業金（教材開発、出前授業）

事務所訪問対応

日時	内容	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容	事業費(千円)
24回	事務所訪問対応	FTCJオフィス	80人	月2回のボランティアデーや事務所訪問の対応	120

5) 自立支援事業・緊急支援事業

◆事業の目的と役割・活動内容目的：貧困などが原因で権利を奪われ困っている開発途上国の子ども（特に支援地域のフィリピン、インド、ケニアなど）や国内の子どもの権利が守られ教育を受けられ自立できるよう支援。
内容：フィリピン、インド、ケニアなどの開発途上国の子どもが貧困から解放され自立できるよう包括的な支援事業を実施する。また、災害や紛争などによって被害を受けた地域への緊急復興支援事業を実施する。

<フィリピン支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
先住民族の子どもへの教育支援	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金とチョコプロの収益、その他寄付にてミンダナオ島の先住民族のキバラトン村に暮らす子どもたちが通う老朽化した幼稚園及び小学校の校舎を修繕するなどし教育環境を整える支援事業を実施。	通年	フィリピン	子ども約60人	1,900
性虐待や刑務所から救出された子ども教育支援	指定寄付やフェアトレード商品の収益によって、フィリピン・ルソン島サンパレス州オロンガポに位置する現地パートナーNGOプレダ基金を通して、性的虐待・搾取を受けた少女や、路上や刑務所から救出された少年への教育、アエタ民族コミュニティへの自立支援活動の実施。	通年	フィリピン	子ども約200人、アエタ民族100人	350
障害者支援事業	ナガ市やマニラ市における障害のある子ども若者が教育を受けられるよう環境を整えるための支援事業を実施するための調査の実施	6月～10月	フィリピン	-	400

<インド支援事業> 助成：公益財団法人大阪コミュニティ財団（インド子ども若者自立・啓発事業）

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
西ベンガル州CCDマクタニール養護施設運営事業	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金や助成金、その他寄付を使って、現地パートナー団体CCDを通じて、路上や児童労働などから救出され施設で生活する子どもと貧困家庭で暮らす子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に暮らせるよう事業を実施。具体的には支援対象者の子どもが学校に通うために必要な教育費（制服や教材文房具、ワークショップ教材費）や、食費の提供、健康医療支援プログラムのために支援金を活用した。また、施設では美術や体育などの情操教育を通し、より豊かな心身の発達を育てている。	通年	インド	マクタニール擁護施設で生活する22人の子ども 貧困家庭の子ども10人	160
西ベンガル州ハロア開発地区子ども若者自立支援事業	西ベンガル州ハロア開発地区に暮らす貧困家庭の子どもや若者に対して、自立できるよう収入向上のための職業訓練セミナーを提供し教育支援を実施。また、虐待や児童婚などの課題から子どもを守るために、子どもの権利を伝える子ども若者グループを育成し、地域の子ども及びおとなが権利についての知識を得られるようアドボカシー活動を実施。	通年	インド	西ベンガル州ハロア開発地区の子ども若者約80人	1,070
ラジャスタン州貧困農村地域自立支援事業	ラジャスタン州ラジサマンド地方農村地域では、降雨量が少なく半乾燥地帯のため、またインフラ整備も進んでいないため、農作物の収穫が伸びず、村人は現金収入が少なく貧困から脱却が難しい状況にある。そこで現地パートナーWE Charityを通じて人々が貧困から抜け出し自立できるよう5つの柱（教育、水、保健衛生、生計維持、食糧農業）をたてて包括的に支援。	通年	インド	カルタナ村の人々1,000人	64

<ケニア支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
ケニア・保健医療支援事業	支援対象のケニアナロック群南ナロック県のマサイ民族やキクユ民族が主な患者として治療を行うパラカ病院及び、エシノニ村へのモバイルクリニックにおいて、子どもや妊産婦への健康向上・維持のための保健医療支援を行った。主な寄付は「東京グレートサンタラン」による収益など。	通年	ケニアナロック群南ナロック県パラカ病院及びエシノニ村	ケニアナロック群南ナロック県エシノニ村約1200人	800

<モンゴル支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
モンゴル・貧困地域支援事業	F.O.インターナショナル様からの支援物資3001着の子ども服をモンゴルの貧困家庭へ配布の実施。現地パートナー団体：Rotary Club of Khangarid, Mongolia。配布先：・ダルハン・オール県、アルハンガイ県、ウランバートル市、その他	9月～12月	モンゴル首都及びその他の地域	550人の幼児、子ども	180

<緊急・復興支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
台風15号及び19号によって被害を受けた千葉県内の地域への緊急・復興支援事業	2019年秋に襲った台風15号及び19号によって被災した千葉県内の地域に対して、炊き出しや生活物資の提供、その他清掃活動、情報提供などを実施。FTCJ理事で千葉県在住の[]が運営するカフェを拠点に指揮を執り様々なグループと連携しながら実施。延べ2000食を提供。	9月～12月	千葉県	2000人	1,300

6) WE Day

2007年にカナダ・トロントにて始まった子どもや若者間で自主的な社会貢献活動を根付かせるためのライブイベントWE Dayの日本版を2020年3月に開催するために設置した事業。

【コンセプト】誰かのためにアクションを起こした子どもや若者を招き、祝い、エンパワーする世界的ライブ・イベント

【イベント名】 WE Day Community: Japan 2020

【日時】2020年3月20日(金・祝) 午前及び午後 (前日より会場にて準備、リハーサル予定)

【会場】LINE CUBE SHIBUYA (渋谷公会堂)

【対象】SDGsの目標として掲げられている国内外の社会課題解決に向けて、ボランティア活動など何らかのアクションを起こした25歳以下の子どもや若者1,700人(小学生、中学生、高校生、大学生・院生など)

【目的】

1. 参加者の子どもや若者が、多様な立場に置かれる人々や異なる価値観を理解し、一人ひとりが尊重されることの大切さを感じ、彼らの自己肯定感を高める。
2. 参加者の子どもや若者が、SDGsに紐づく国内外にある社会問題を知り、それらの問題と自分自身が繋がっていることに気づき、自分ができていることを考え、行動できる素地を養えるようにする。
3. 参加者の子どもや若者が、自分が動くことでより良い変化を起こせると感じ、彼らの自己効力感を高める。

【参加費】無料

【プログラム】社会課題を解決するためのアクションを起こした子どもや若者を祝い、エンパワーメントする内容を予定

- ・社会活動家・著名人などによるスピーチ、パフォーマンス
- ・子どもや若者によるアクションによるインパクト(成果)の発表
- ・子どもや若者活動家(参加者)によるスピーチ、パフォーマンス
- ・今後のアクションのテーマの発表 など

【協力】一般社団法人OSAKAあかるクラブ、株式会社フロンティアインターナショナル、NPO法人iPledge、一般社団法人オール・ニッポン・レノベーション、Wake Up Japan

【後援】東京都、渋谷区、世田谷区、渋谷区教育委員会、世田谷区教育委員会、カナダ大使館、国際協力機構(JICA)、日本YMCA同盟、ガールスカウト日本連盟、ボーイスカウト日本連盟、ユネスコ・アジア文化センター、ESD活動支援センター、関東地方ESD活動支援センター

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
WE Day Japan	2020年3月20日に渋谷公会堂にて日本初のWE Dayを開催するための準備やアドボカシー活動。OSAKAあかるクラブや電通のアドバイスや、事務局としてイベント業務のプロフェッショナル(株)フロンティアにご協力頂き、舞台づくり、広報、タレントや出演者さんへのアプローチ、チケット準備など行った。また、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのメンバーよりWE Dayユースアンバサダーを募り、WE Dayを子ども若者に周知、盛り上げるための事前イベントの実施、募金活動などを展開した。	通年	東京	約2000人	16,524

管理部

管理・その他、この法人の目的を達成するために必要な事業に関する報告

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費(千円)
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳。	通年	東京	30	34
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため下記の助成を受け研修を受講 ・データベースsalesforce研修受講・エビペン講習	通年	東京	4	50
個人情報管理	アクセスのデータを構築デザインし、メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行った。	通年	東京	3	1100
問い合わせ対応	メール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例：事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など(子どもメンバー692人、ユースメンバー543人、ボランティアメンバー登録50人)	通年	東京	3	460
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。	通年	東京	2	2300
理事会運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11	160
その他	事務所運営管理、什器管理など。	通年	東京	5	100

【活動のご協力】

◆助成協力：東京都 正規雇用等転換安定化支援助成金、東京都 キャリアアップ助成金

【事務局体制、役割報告】

事務局長
 : アドボカシー事業リーダー
 : 会計・総務
 : 子ども活動応援事業リーダー
 : 子ども活動応援事業 スピーカー・ファシリテーター
 : 翻訳チーム、広報
 : 関西での活動

【理事兼任】

: 海外自立支援事業・組織運営全般
 : 子ども活動応援事業
 : 個人情報管理システム構築
 : 関西での活動

【インターンご紹介】

2019年度は下記のインターンのみなさんが活動を支援担当の事業を担いました。(敬称略・順不同)

WE Day
 : 子ども活動応援事業
 : テイク・アクション・キャンプ・ジャパン
 : テイク・アクション・キャンプ・ジャパン
 : 子ども活動応援事業、子どもの権利条約フォーラム条約キャンペーン、WE Day
 : 子ども活動応援事業、WE Day
 : 教育協力ネットワーク事務局、WE Day

メディア掲載一覧

2019年1月～12月にメディア等などで配信・紹介されたFTCJの活動です。

時期	メディア配信・媒体名	内容
通年	高校英語教科書UNICORN	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレス ントピックとして掲載されています。
通年	高校英語教科書English Now!	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレス ントピックとして掲載されています。
通年	中学生公民教科書	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレス ントピックとして掲載されています。
通年	英語教科書 ONE WORLD	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレス ントピックとして掲載されています。
2019/3/1	JICA フィリピンNGOダイレクター	団体概要、特にフィリピンでの取り組みつ いて紹介されました。
2019/5/13	エシカル消費副読本「浜松から未来をひらくエシカル消 費」指導ガイド	児童労働の事例の画像を提供しました。指導 ガイドの対象：浜松市中学校教員（市立・公 立全ての学校） https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/ kurashi/kyouzai.html
2019/5/22	朝日小学生新聞	世田谷区の母子手帳に子どもの権利条約を載 せる活動が掲載されました。
2019/6/15	子どもの権利条約ネットワークニュースレター	広げよう！子どもの権利条約キャンペー ンローンチイベントに登壇した[]子どもメ ンバーの[]さん、[]さんのス ピーチが掲載されました。
2019/8/10	朝日小学生新聞	中高生向けの宿泊型リーダーシップトレー ニングキャンプ「テイク・アクション・キャン プ・ジャパン」が掲載されました。
2019/9/29	聖教新聞	講演会の様子が取り上げられました。
2019/10/1	世田谷区発行：若者応援団体リスト本	世田谷区で活動している団体として掲載され ました。
2019/11/21	毎日小学生新聞	子どもメンバーの母子手帳に子どもの権利条 約を掲載するための活動が掲載されました。
2019/11～12	TV21件、新聞76件、雑誌3件、WEB817件	東京グレートサンタラン2019について取り上 げられました。

元書類収受日 令和 2 年 3 月 24 日

差替書類収受日 令和 3 年 3 月 23 日

2019年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

[税込](単位:円)

全事業所

自 2019年 1月 1日 至 2019年 12月 31日

I 経常収益		小計	合計
1. 会費・入会金収入			
正会員会費	260,000		260,000
2. 寄付金・募金収入			
寄付金・募金	35,374,623		35,374,623
3. 助成金・補助金収入			
助成金	6,472,519		6,472,519
4. 事業収益			
自主事業収益	13,750,949		13,750,949
5. その他収入			
受取利息	111		
雑収入	410,696		
為替差益	711		411,518
経常収益合計			56,269,609
II 経常費用		小計	合計
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	9,918,905		
法定福利厚生費	1,193,493		
人件費計			11,112,398
(2)その他経費			
商品材料	674,432		
寄付・海外送金額	2,602,685		
旅費交通費	9,963,890		
印刷製本費	662,810		
通信運搬費	1,080,850		
広告宣伝費	160,648		
消耗品費	267,622		
業務委託費	1,606,589		
研修・施設会場費	13,358,340		
地代・家賃	1,142,548		
水道光熱費	150,930		
保険	7,740		
諸会費	114,000		
支払い手数料	562,952		
為替差損	2,033		
雑費	56,430		
租税 公課	70,000		
その他経費計			32,484,499
事業費 計			43,596,897
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	3,073,734		
法定福利費	298,374		
人件費計			3,372,108
(2)その他経費			
旅費交通費	144,955		
印刷製本費	66,665		
通信運搬費	78,386		
広告宣伝費	756		
消耗品費	61,460		
業務委託費	124,732		
研修・施設会場費	2,320		
地代 家賃	285,636		
水道光熱費	37,733		
支払手数料	26,495		
雑費	3,150		
その他経費計			832,288
管理費 計			4,204,396
経常費用合計			47,801,293
当期経常増減額			8,468,316
期首商品棚卸高			254,694
当期正味財産増減額			8,463,575
前期繰越正味財産額			13,502,641
当期正味財産合計額			21,966,216

(注)旧特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

修正理由:オンライン寄付サイトsynableの入金手続きと領収証発行の矛盾が発生し、19年決算分を計上修正致しました。

収入:正会員費用10000円、寄付277950円

事業費:入金の際の手数料10175円、雑費 -350円 マイナスになったのは、syncable上で返還金手続きをしていたため反映

元書類収受日 令和2年3月24日

差替書類収受日 令和3年3月23日

活動計算書 事業費内訳

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

1.重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日NPO法人会計基準協議会)によっています。
同基準では、特定非営利活動促進法第28条第0項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1)棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は総平均法によっています。

2.事業費の内訳

自2019年1月1日 至 2019年12月31日

事業費の区分は以下の通りです

[税込](単位:円)

科目	子ども主体	子ども活動応援	アドボカシー	WEDay	自立支援	外部ネットワーク	合計
(1)人件費							
給料手当	362,945	2,271,877	3,891,109	1,667,617	1,295,377	429,980	9,918,905
法定福利費	45,304	271,877	441,109	217,617	169,802	47,784	1,193,493
人件費計	408,249	2,543,754	4,332,218	1,885,234	1,465,179	477,764	11,112,398
(2)その他経費							
商品材料	0	181,440	492,992		0	0	674,432
寄付・海外送金額	0	0	0	100,220	2,502,465	0	2,602,685
旅費交通費	32,868	6,943,089	832,353	657,663	1,303,334	194,583	9,963,890
印刷製本費	26,819	252,225	228,373	117,803	6,360	31,230	662,810
通信運搬費	28,432	231,881	413,766	103,625	177,584	125,562	1,080,850
広告宣伝費	0	150,648	10,000		0	0	160,648
消耗品費	21,409	98,056	117,283	10,050	16,246	4,578	267,622
業務委託費	0	489,518	468,899	162,651	102,190	383,331	1,606,589
研修・施設会場費	0	65,020	36,820	13,220,000	0	36,500	13,358,340
地代・家賃	190,424	190,425	190,425	190,425	190,425	190,424	1,142,548
水道光熱費	25,155	25,155	25,155	25,155	25,155	25,155	150,930
保険	0	7,740	0		0	0	7,740
諸会費	0	0	0		0	114,000	114,000
支払手数料	11,717	56,106	58,267	20,874	395,603	20,385	582,952
為替差損	0	0	0	0	2,033	0	2,033
雑費	0	0	37,967	18,463	0	0	56,430
租税 公課	11,666	11,667	11,667	11,667	11,667	11,666	70,000
その他経費計	348,490	8,702,970	2,923,967	14,638,596	4,733,062	1,137,414	32,484,499
事業費計	756,739	11,246,724	7,256,185	16,523,830	6,198,241	1,615,178	43,596,897

元書類收受日 令和2年3月24日

差替書類收受日 令和3年3月3日

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン
全事業所

[税込] (単位: 円)
2019年12月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	1,868,385
現 金	528,810	預 り 金	302,053
小口 現金	87,938	流動負債 計	2,170,438
普通 預金	22,736,177	負債の部合計	2,170,438
外貨	226,296	正 味 財 産 の 部	
現金・預金 計	23,579,221	【正味財産】	
(売上債権)		正味 財産	21,966,216
未 収 金	287,950	(うち当期正味財産増加額)	8,463,575
売上債権 計	287,950	正味財産 計	21,966,216
(棚卸資産)		正味財産の部合計	21,966,216
商品	249,953		
棚卸資産 計	249,953		
流動資産合計	24,117,124		
【固定資産】			
(無形固定資産)			
電話加入権	19,530		
無形固定資産 計	19,530		
固定資産合計	19,530		
資産の部合計	24,136,654	負債・正味財産の部合計	24,136,654

元書類收受日 令和 2 年3月24日

差替書類收受日 令和 3 年3月3日

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン
全事業所

[税込] (単位:円)
2019年12月31日 現在

《資産の部》		
【流動資産】		
(現金・預金)		
現金	528,810	
小口 現金	87,938	
普通 預金	22,736,177	
外貨	226,296	
現金・預金 計	23,579,221	
(売上債権)		
未 収 金	287,950	
売上債権 計	287,950	
(棚卸資産)		
商品	249,953	
棚卸資産 計	249,953	
流動資産合計		24,117,124
【固定資産】		
(無形固定資産)		
電話加入権	19,530	
無形固定資産 計	19,530	
固定資産合計		19,530
資産の部 合計		24,136,654
《負債の部》		
【流動負債】		
未 払 金	1,868,385	
預 り 金	302,053	
流動負債 計	2,170,438	
負債の部 合計		2,170,438
正味財産		21,966,216

2019年 役員名簿及び
役員のうち報酬を受けたことがある者の名簿

2019年 1月 1日から 2019年 12月 31日まで

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事	ナジマ サエ 中島 早苗		2019年1月1日 ～2019年12月31日	2019年1月1日 ～2019年12月31日 給与として
理事	トモノ ヤスシ 伴野 保志		2019年1月1日 ～2019年12月31日	2019年1月1日 ～2019年12月31日 給与として
理事	ナガノ エリ 永野 恵理		2019年1月1日 ～2019年12月31日	無
理事	イデノ ケイコ 出野 恵子		2019年1月1日 ～2019年12月31日	2019年1月1日 ～2019年12月31日 給与として
理事	タケノ ミチコ 竹内 美紗子		2019年1月1日 ～2019年12月31日	無
監事	ミヤジマ タマ 宮島 珠		2019年1月1日 ～2019年3月12日	無
理事	フジイ ユカ 藤井 裕子		2019年1月1日 ～2019年12月31日	無
理事	シバ アリカ 志賀 アリカ		2019年1月1日 ～2019年12月31日	無
理事	カサマ ユカ 風間 穂		2019年1月1日 ～2019年12月31日	無
理事	ハネ カンタ 羽仁 カンタ		2019年1月1日 ～2019年3月12日	無
理事	ハヤシ ダイスケ 林 大介		2019年1月1日 ～2019年12月31日	無
理事	ナジマ シンジ 中島 慎治		2019年3月12日 ～2019年12月31日	無
監事	クラシタ ユカ 倉下 由香		2019年3月12日 ～2019年12月31日	無

社員のうち10人以上の者の名簿

特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	トモ ヤシ 伴野 保志	
2	ナガシマ サエ 中島 早苗	
3	ナガノ エリ 永野 恵理	
4	フジイ ユコ 藤井 裕子	
5	イデノ ケイ 出野 恵子	
6	カザマ ユカ 風間 ゆたか	
7	ミヤジマ タマ 宮島 珠	
8	タケノ ショ 竹内 美紗子	
9	シガ アリカ 志賀 アリカ	
10	ハラモト マサシ 原元 雅史	
11	スギヤマ ススム 杉山 進	

監査報告書

2020年2月22日

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

代表理事 中島 早苗 殿

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

監事

倉下 由香



私、監事は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2019年
(2019年1月1日から2019年12月31日まで)の会計業務の監査を行いました。
その結果につき次のとおり報告します。

記

1. 監査の方法の概要

会計監査については、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表などの正確性を検討しました。

2. 監査意見

収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示しているものと認めます。

以上